日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing

17号 教員業績

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2019-10-17
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 日本赤十字九州国際看護大学
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/623

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

教員業績

（2018 年 1 月～12 月）

＜リベラルアーツ・専門基礎＞

教授　鈴木　清史

【論文】

鈴木清史：健康教育教材の試用と今後の課題―パキスタンの小学校での試み―．アジア研究，13：25-33, 2018.

【競争的外部資金】

2016-18 年度　自己啓発型ヘルス・コミュニケーションツールの開発と評価　[JSPS 科研費 JP16K01298]

教授　髙瀬　文広

【著書】

髙瀬文広，他：「映画で英語をモノにする！」．フォーイン スクリーンプレイ事業部, 2018.

【社会活動】

・実用英語検定試験（STEP）面接委員

・福岡市学習情報システム「まなびアイふくおか」講師

教授　守山　正樹

【論文】

守山正樹，伊藤恵子，鎌田幹夫，他：触覚から生活や感情を振り返るリフレクションの演習方法の開発と試行．感性と対話，1(2)：7-22, 2018.
https://narrativesenses.files.wordpress.com/2019/01/wpp07-moriyama-1.pdf,（参照 2019-01-07）.

守山正樹：日々の感覚と対話からのネットジャーナル創刊は可能か？感性と対話，1(1)：3-12, 2018.
https://narrativesenses.files.wordpress.com/2018/06/wbl2018-wpp01-moriyama.pdf,（参照 2018-12-15）.

Moriyama, M. : Some experience of Japan in doctoral of nursing education: Quest of balanced research education in coming doctoral course. Paper presented at a *Conference on Capacity and Doctoral Nursing Education,* at Nam Dinh University of Nursing, Vietnam. 1-11, 2018.

【学会発表】

守山正樹：Galton の著作における健康の位置づけの分析－民族衛生から健康への移行に関連して－．第 83 回日本健康学会総会，前橋市, 2018 年 11 月 23 日.

Moriyama, M.: Arising awareness to self & others by asking WIFY. 2nd International Conference on Nursing, Pharmacy, Traditional Medicine and Healthcare Sciences, Osaka, September 28, 2018.

守山正樹：健康教育を再考する事例研究_どこまでが健康教育か？ 第 27 回日本健康教育学会，姫路市，2018 年 7 月 7 日.

守山正樹，他：ネパール歯科医療協力会こどものこころプロジェクト．第 29 回歯科保健医療国際協議会総会，福岡市，2018 年 7 月 1 日.

【国際活動】
・JICA 地域保健向上のための保健人材強化・講師‘＆ファシリテーター　2016～2018
・ベトナム、ナムディン看護大学集中講義 2016～2018

教授　柳井　圭子

【著書】
柳井圭子：学校保健安全法，看護師，看護師等の人材確保の促進に関する法律，情報公開．甲斐克則編：医事法辞典，信山社，2018.

柳井圭子：第 2 講　医療制度と行政規則．甲斐克則編：ブリッジブック医事法（第 2 版）．信山社，14-22，2018.

【論文】
大北啓子，内田美津子，シャルマ直美，柳井圭子：非匿名第三者からの卵子提供生殖補助医療を受ける夫妻の生まれてくる子への出自告知を支援する治療前カウンセリングの評価．日本生殖心理学会誌，4(1)：22-28，2018.

柳井圭子：巻頭言　法の枠の範囲を見極め、できうる実践の成果を．日本フォレンジック看護学会，4(2)：1-3，2018.

柳井圭子：なぜ今、災害とフォレンジック看護なのか．日本フォレンジック看護学会，4(2)：79-83，2018.

【学会発表】
柳井圭子，シャルマ直美，大北啓子，内田美津子：匿名化卵子提供による生殖補助医療の家族形成支援―台湾の実施機関での取り組みより．第 30 回日本生命倫理学会（京都），2018.

柳井圭子：イギリスにおける看護師の暴力防止の役割．第 5 回日本フォレンジック看護学会（新潟），2018.

柳井圭子：患者情報の活用と守秘．第 9 回九州医学哲学・倫理学会（宮崎），2018.

大北啓子，内田美津子，シャルマ直美，エレーラ・ルルデス，柳井圭子：非匿名性による卵子提供を受ける夫妻への家族形成支援（1）生まれてくる子への告知に対するカウンセリング成果について．第 15 回日本生殖心理学会（東京），2018.

シャルマ直美，柳井圭子，大北啓子，内田美津子，エレーラ・ルルデス：非匿名性による卵子提供を受ける夫妻への家族形成支援（2）意思決定から支援体制を築くために．第 15 回日本生殖心理学会（東京），2018.

第 31 回日本助産学会学術集会シンポジウム：性暴力被害者支援における政策提言と助産師の役割、性暴力被害者支援体制を支える法制度（高知），2018.

【報告書】
柳井圭子，力武由美，エレーラ・ルルデス，他：法看護師を中心とする暴力防止体制構築のための研究．平成 29 年度科学研究費助成報告書，2018.　[JSPS 科研費 JP 15H05074]

【競争的外部資金】
2017-19 年度　フォレンジック看護学の実践哲学の体系化に関する研究　［JSPS 科研費 JP17K12106］（研究分担者）

【社会活動】
市民公開講座企画：サリー.Ｊ・ラスキー（ＩＡＦＮ　ＣＯＥ）「アメリカにおける災害時及び平時の暴力防止の取り組み」福岡看護大学，2017．講演内容編集，日本フォレンジック看護学会，4(2)：109-116，2018.

日本フォレンジック看護学会第 4 回学術集会企画：Virginia A. Lynch (MSN, RN, FNE,FAAFS,FAA)「全人的医療の提供を目指して―災害に活かすフォレンジック看護」福岡看護大学，2017.　講演内容編集 日本フォレンジック看護学会，4(2)：91-102，2018.

【講演・研修会講師等】
・平成 30 年度厚生労働省委託事業　在宅見取りに関する研修事業：医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会：「法医学と看護」担当，2018（東京・福岡・岡山）.
・特別養護老人ホーム富の里職員研修会：「身体拘束廃止・虐待防止に取り組む意味」担当，2018.8.22.
・第 22 回法人全体研修会：「ケアと依存　人を助けるのは人だ」担当，福岡，2018.11.24.

＜看護の基盤＞

教授　本田　多美枝

【論文】
阿部オリエ，本田多美枝，小手川良江，他：看護学実習前演習に地域住民が模擬患者（Simulated Patient：SP）として参加することの意義に関する研究（第 2 報）．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：9-20，2018.

【学会発表等】
河口てる子，中野美代子，石﨑智子，西片久美子，根本昌宏，大西文子，山田典子，眞崎直子，本田多美枝：赤十字 5 看護大学によるテレビ会議システムを活用した大学院遠隔授業．第 54 回日本赤十字社医学会総会（名古屋），2018 年 11 月 15 日.

【競争的外部資金】
2018-21 年度　実践-省察-共同思考を中核とした学習する組織創出型看護管理者支援プログラムの開発 [JSPS 科研費 JP 18K10224]

2018-21 年度　リフレクティブコミュニティを基盤としたクリティカルケア看護実践支援モデルの開発 [JSPS 科研費 JP18K10366]（研究分担者）

2018-21 年度　中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築　［JSPS 科研費 JP 18K10265］（研究分担者）

2017 年度　共同教育課程でのテレビ会議システムおよびインターネットを介した遠隔授業・個別指導の教育効果に関する基礎的研究　「学園法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成」（研究分担者）研究成果要旨.

2014-17 年度　リフレクションを活用したクリティカルケア看護実践力サポートプログラムの開発 [JSPS 科研費 JP26463324]（研究分担者）成果報告書.

【社会活動】
日本看護学教育学会　専任査読委員（2009 年－2018）、編集委員会委員（2018－現在）
日本赤十字看護学会　理事（2012-2018）、編集委員会委員長（2016 年－2018）
福岡県看護協会　認定看護管理者セカンドレベル　人的資源活用論　講師（2009 年－現在）
福岡県看護協会　新人看護職員　教育担当者研修　講師（2017 年－現在）
熊本県看護協会　新人看護職員研修　研修責任者研修　講師（2010 年－現在）
熊本県看護協会　新人看護職員研修 教育担当者・実地指導研修会講師（2011 年－現在）
山口県看護協会　新人看護職員研修　研修責任者研修　講師（2018 年－現在）

教授　倉岡　有美子

【著書】
倉岡有美子：看護現場を変える 0 ～8 段階－コッターの企業変革の看護への応用－．医学書院，2018.

倉岡有美子：2 看護管理の基本となるもの，3 看護管理のプロセス 2. 吉田千文，志田京子，手島恵，他：ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践①「看護管理」（第 4 版），メディカ出版，43-51，2018.

【論文】
Kuraoka Y：Qualitative study of supervisor feedback on nurse managers' reflective journals. *International Archives of Nursing and Health Care*，4(4): 1-7，2018.

倉岡有美子：管理者の経験学習：概念分析，聖路加看護学会誌，22(1)：3-10，2018.

Kuraoka Y：Effect of an Experiential Learning-based Program to Foster Competence among Nurse Managers, *Journal of Nursing Management*, 26：1015-1023，2018.

（解説）
倉岡有美子，吉田千文：看護学生の政策提言力を高めるための取り組み－看護政策論での政策提言コンペティション－．聖路加国際大学紀要，4：74-78，2018.

倉岡有美子，吉田千文：看護管理学の理論と学生の経験を結び付けるための取り組み－看護管理学における学生のプレゼンテーション－．聖路加国際大学紀要，4，79-84，2018.

【学会発表】
Kuraoka Y：Development and evaluation of an experiential learning-based program to foster competence among nurse managers in their early years in supervisory roles，International Conference on Nursing, Pharmacy, Traditional Medicine and Healthcare Sciences 2018，2018 年 9 月

【競争的外部資金】
2016-18 年度　就任初期の看護師長の経験学習促進プログラムの開発と評価　[JSPS 科研費 JP16K20734]

【社会活動】
日本看護管理学会（2012 年-現在　教育委員会委員）
日本赤十字看護学会（2010-2018 年　臨床看護実践開発事業委員会委員）
聖路加国際大学　認定看護管理者ファーストレベルプログラム
講師：グループマネジメント「実践家のリーダーシップ」（2010-2018 年）

准教授　阿部　オリエ

【論文】
阿部オリエ，本田多美枝，小手川良江，他：看護学実習前演習に地域住民が模擬患者（Simulated Patient：SP）として参加することの意義に関する研究（第 2 報）．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：9-20，2018.

【学会発表等】
阿部オリエ：臨地実習における「学生の看護上の判断」の概念分析．第 38 回日本看護科学学会学術集会，愛媛県，2018 年 12 月.

日本赤十字看護学会編集委員会事務局　2015 年 7 月 1 日～2018 年 8 月.

2017 年度 JICA 課題別研修「地域保健向上のための保健人材強化」研修プロジェクトにて「看護における教育制度と人材開発」講義　2018 年 2 月 20 日.

助教　小手川　良江

【論文】
阿部オリエ，本田多美枝，小手川良江，他：看護学実習前演習に地域住民が模擬患者（Simulated Patient：SP）として参加することの意義に関する研究（第 2 報）．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：9-20，2018.

【競争的外部資金】
2018-21 年度　中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築　[JSPS 科研費 JP18K10265]

助教　鬼丸　美紀

【競争的外部資金】
2016-18 年度　高齢者のヘルスリテラシーと服薬管理の関連　[JSPS 科研費 JP16K20869]

＜成育看護＞

教授　大重　育美

【論文】
苑田裕樹，福島綾子，清末定美，大重育美：日本赤十字九州国際看護大学における災害対応マニュアル改訂と発災時の対応能力向上への取り組み．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：21-32，2018.

大重育美，松中枝理子，島崎梓，他：大学生の蓄積的疲労徴候（CFSI）に影響する要因分析．日本健康医学会誌, 27(1):17-23，2018.

菅原直子，大重育美，高橋清美：福祉避難所開設と運営の実態;災害時における福祉避難所運営の学びか

ら．日本看護学会論文集看護管理, 48: 91-94，2018.

Ooshige, N., Yamaguchi, T., Nakashima, M., et al.: Factors influencing cumulative fatigue symptoms in female nurses working in two shifts rotation system in Japan. *International Journal of Nursing and Clinical Practice*. 2017, 5: 270
https://doi.org/10.15344/2394-4978/2018/270(2018)

【競争的外部資金】
2017～19 年度　10 代の若者向け暴力の加害者・被害者を予防する e ラーニングと DVD 映像教材の開発［JSPS 科研費 JP17K12334］（研究分担者）

【社会活動】
・平成 30 年度災害看護研修「いざという時に動けるワタシになるために」企画・運営
・平成 30 年度宗像市子育てセンター「子どもの安全・ママの安心」講演

教授　永松　美雪

【著書】
永松美雪監修，大重育美，石山さゆり，他：映像教材 DVD「あなたとわたしにひそむ危険と楽しい関係」［JSPS 科研費 JP17K12334］　日本赤十字九州国際成育看護大学制作，2018.

【論文】
永松美雪，原健一：中学生向け DV と地域・ネット環境を通じた性暴力予防教育の評価．思春期学，36(2)：234-245，2018.

大重育美，松中枝理子，島崎梓，後藤智子，石山さゆり，永松美雪：大学生の蓄積的疲労徴候（CFSI）に影響する要因分析．日本健康医学会雑誌，27(1)：17-23，2018.

Nagamatsu, M., Ooshige, N., Goto, T., et al.: Factors related to sexual assault experience among early adolescents in Japan. *Journal of School Violence*, 17(2): 244-257, 2018.

【学会発表等】
永松美雪，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，原健一：暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の開発．第 37 回日本思春期学会総会･学術集会，東京，2018 年.

第 37 回日本思春期学会総会･学術集会　シンポジウム座長　2018 年

【競争的外部資金】
2017～19 年度　10 代の若者向け暴力の加害者・被害者を予防する e ラーニングと DVD 映像教材の開発［JSPS 科研費 JP17K12334］

【社会活動】
・日本思春期学会　代議員　専任査読委員　2018 年～現在
・日本赤十字九州国際看護大学紀要編集長　2017 年～現在
・第 33 回日本助産学会学術集会プログラム企画委員会委員　専任査読委員　2017 年～2019 年
・宗像市子育てセンター協賛　くるくるユース　育児相談　2016 年～～2019 年

【国際活動】
2018 年 JICA「保健人材開発―地方村落における地域保健」 コースにて“Midwifery education in Japan”講義

准教授　石山　さゆり

【論文】
大重育美，松中枝理子，島崎梓，後藤智子，石山さゆり，永松美雪：大学生の蓄積的疲労徴候(CFSI)に影響する要因分析．日本健康医学会雑誌，27(1)：17－23，2018.

石山さゆり，岩永浩明，田原孝，他：胎児と母は決定論的カオスである：サロゲート法による解析．看護理工学会誌，5(1)：74-79，2018.

【学会発表等】
大重育美，松中枝理子，島崎梓，後藤智子，石山さゆり，永松美雪：大学生の蓄積的疲労徴候(CFSI)に影響要因に関する研究　看護学生に着目して．第 37 回日本思春期学会学術集会，2018.

高盛裕子，宮﨑千穂，藤川暢子，仲村亜依子，石山さゆり，他：看護職の職場定着に影響を与える要因について．第 18 回福岡県看護学会，2018.

【競争的外部資金】
2017～19 年度　10 代の若者向け暴力の加害者・被害者を予防する e ラーニングと DVD 映像教材の開発 [JSPS 科研費 JP17K12334]（研究分担者）

【社会活動】
むなかた大学のまちゼミナール 平成 30 年度公開講座講師「胎児期からの子育て」2018 年 12 月 1 日.

助教　園田希

【論文】
園田希，小川真世，田所由利子，他 ： 妊婦を対象としたふれて・感じる「Mama’s Touch プログラム」の実行可能性-オキシトシン・コルチゾールによる評価; 予備研究-．日本助産学会誌, 32(1)：60-72, 2018.

【学会発表等】
Horiuchi, S., Tadokoro, Y., Takahata, K., Sonoda, N., et al.: The Effect of Aromatherapy and Breast Stimulation on Oxytocin Release. 4th World Nursing & Healthcare Conference. Italy, 2018 年 8 月.

永松美雪，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，原健一: 暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の開発 ［JSPS 科研費 JP17K12334］ 第 37 回日本思春期学会，東京，2018 年 8 月.

小川真世，園田希，田所由利子，高畑香織，周尾卓也，堀内成子: 妊婦が乳児とふれあう「Mama Touch プログラム」および唾液オキシトシン測定の実行可能性. 第 32 回日本助産学会学術集会，横浜，2018 年 3 月 .

【競争的外部資金】
2017～19 年度　10 代の若者向け暴力の加害者・被害者を予防する e ラーニングと DVD 映像教材の開発 [JSPS 科研費 JP17K12334]（研究分担者）

助教　中村　美佳

【学会発表】

永松美雪，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，原健一: 暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の開発. 第 37 回日本思春期学会，東京，2018 年 8 月.

【競争的外部資金】

2017～19 年度　10 代の若者向け暴力の加害者・被害者を予防する e ラーニングと DVD 映像教材の開発 [JSPS 科研費 JP17K12334]（研究分担者）

【社会活動】

・独立行政法人国立病院機構佐賀病院研修講師（2018－現在）
・母乳の会主催 母乳育児シンポジウム実行委員（2018）

助教　松中　枝理子

【論文】

Ueki, S., Fujita, Y., Kitao, M., Kumagai, Y., Ike, M., Niinomi, K., Matsunaka E., Fujiwara, C.: Resilience and difficulties of parents of children with a cleft lip and palate. *Japan Journal of Nursing Science,* 1-6, 2018.

大重育美，松中枝理子，島崎梓，他：大学生の蓄積的疲労徴候(CFSI)に影響する要因分析. 日本健康医学会雑誌, 27(1): 17-23, 2018.

松中枝理子，藤原千恵子: 思春期の口唇裂・口蓋裂患者がもつ親に対する認識. 小児保健研究, 77(1): 41-49, 2018.

【学会発表】

松中枝理子，藤原千恵子，熊谷由加里，高野幸子，池美保: 思春期の口唇裂・口蓋裂患者の手術への意思決定に影響する要因. 第 49 回日本看護学会-急性期看護-学術集会，示説発表, 2018.

Matsunaka, E., Fujiwara, C., Kumagai, Y., Takano, S., Ike M., Kogo, M.: Decision to undergo surgery by adolescent patients with cleft lip and/or palate. 2nd International Conference on Nursing Science and Practice, poster presentation, 2018.

松中枝理子，藤原千恵子，熊谷由加里，池美保，古郷幹彦: 思春期の口唇裂・口蓋裂患者の手術に対する心理的葛藤. 第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会，示説発表, 2018.

Matsunaka, E., Ueki, S., Makimoto, K.: Impact of breastfeeding or bottle-feeding on surgical wound dehiscence after cleft lip repair in infants. 10th Biennial Joanna Briggs International Colloquium, poster presentation, 2018.

【競争的外部資金】

2016-18 年度　思春期における口唇裂・口蓋裂患者の意思決定支援プログラム構築に向けた基礎的研究 [JSPS 科研費 JP16K20811]

助手　橋本　真貴子

【国際活動】

2018 年度 JICA「保健人材強化」研修アテンド

＜老年・慢性看護＞

教授　中村　光江

【論文】

香山麻衣子，中村光江：血液透析導入に至った成人期の慢性糸球体腎炎患者の経験―保存期の療養生活についての「語り」に焦点を当てて．日本腎不全看護学会誌，20(2)：85-95，2018.

【学会発表】

守田美奈子，本庄恵子，吉田みつ子，田中孝美，中村光江，樋口佳栄，田中晶子，殿城友紀，酒井千恵：慢性疾患医療におけるアドバンス・ケア・プランニングの実態：医師と看護師の比較（その 1：認識の特性），第 38 回日本看護科学学会学術集会(示説)，松山市，2018.

本庄恵子，守田美奈子，吉田みつ子，田中孝美，中村光江，樋口佳栄，田中晶子，殿城友紀，酒井千恵：慢性疾患医療におけるアドバンス・ケア・プランニングの実態：医師と看護師の比較（その 2：困難さ），第 38 回日本看護科学学会学術集会(示説)，松山市，2018.

樋口佳栄，本庄恵子，守田美奈子，吉田みつ子，田中孝美，中村光江，田中晶子，殿城友紀，酒井千恵：慢性疾患医療におけるアドバンス・ケア・プランニングの実態：医師と看護師の比較（その 3：実践課題），第 38 回日本看護科学学会学術集会(示説)，松山市，2018.

Morita, M., Honjyo, K., Nakamura, M., Yoshida, M., Sakai, C., Tanaka, T., Higuchi, Y., Tonoki, T., Sakai, C.: Survey on awareness of the need for advance care planning (ACP) among medical service providers in the chronic illness field in Japan: From the results of a questionnaire survey conducted with doctors and nurses dealing with healthcare provision for renal, cardiac and respiratory insufficiency. 22nd International Congress on Palliative Care (poster), Montreal, Canada, 2018.

中村光江，守田美奈子，吉田みつ子，本庄恵子，酒井千恵，田中孝美，樋口佳栄，田中晶子，殿城友紀：英国におけるアドバンス・ケア・プランニングの取り組み，第 12 回日本慢性看護学会学術集会（示説），東京，2018 .

Sakai, C., Honjyo, K., Nakamura, M., Morita, M., Yoshida, M., Tanaka., T., Higuchi, Y., Tonoki, Y., Tanaka, A.：Advanced care planning for persons living with chronic renal failure: From the nurses' narratives. 21th East Asian Forum of Nursing Scholars ＆ 11th International Nursing Conferences(poster), Seoul, 2018.

Tanaka, A., Tanaka, T., Tonoki, Y., Morita M., Yoshida, M., Honjyo, K., Higuchi,Y., Sakai, C., Nakamura, M., : Advanced care planning (ACP) of persons who have chronic respiratory disease (CRD): From nurses' narratives. 21th East Asian Forum of Nursing Scholars ＆ 11th International Nursing Conferences (poster), Seoul, 2018.

Higuchi, Y., Yoshida, M., Morita, M., Honjyo, K., Tanaka, T., Nakamura, M., Tanaka, A., Tonoki, Y., Sakai,

C.: Issues identified from nurses' narratives concerning providing support with advanced care planning (ACP) for chronic heart failure (CHF) patients. 21th East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conferences(poster), Seoul, 2018.

【社会活動】
・2018 年 12 月　宗像市赤間西コミュニティ思いやり講座（宗像市）講師
「エンド・オブ・ライフ～あなたの人生を実りあるものに～」

・2018 年 12 月　日本腎不全看護学会特別研修（松山市）講師
「治療選択に関わる看護倫理と意思決定支援」

・２018 年 11 月　日本腎不全看護学会特別研修（長野市）講師
「治療選択に関わる看護倫理と意思決定支援」

・2018 年 10 月　熊本県腎不全看護研究会（熊本市）講師
「慢性腎不全患者への意思決定支援を考える」

・2018 年 5 月　今津赤十字病院看護研修（福岡市）講師
「エンド・オブ・ライフ（ターミナルケア)」

・2018 年 2 月　日本腎不全看護学会慢性腎臓病療養指導看護師研修（福岡市）　講師
「看護倫理、エンド・オブ・ライフケア」

【研究支援】
2016 年－ 福岡赤十字病院看護研究支援（2019 現在継続中）

【専任査読者】
・2017 年－　日本赤十字看護学会　専任査読者　和文・英文（2019 現在継続中）
・2016 年－　日本慢性看護学会　専任査読者（2019 現在継続中）
・2016 年－　Reviewer of the Japan Journal of Nursing Science
・2015 年－　日本腎不全看護学会　専任査読者（2019 現在継続中）

【その他委員】
・2017-2018　大学基準協会　大学評価分科会委員

【国際活動】
【教育】
2018 年 5 月　Nam Dinh University of Nursing (Vietnam)
ベトナム ナムディン大学　大学院講義「研究方法」

【国際学会座長】
Chair of the symposium: International Society of Nephrology, Tokyo, 2018.

教授　姫野　稔子

【論文】
姫野稔子：在宅高齢者のフットケアニーズとケア.日本フットケア学会雑誌，16(3)；125-130，2018

【学会関連】
第 17 回　未病臨床検査セミナーin 福岡　座長　2018

准教授　原田　紀美枝

【社会活動】
・総合せき損センター　看護職員研修会「看護倫理」講師　2018
・今津赤十字病院　看護職員研修会「看護記録」講師　2017，2018

助教　西山　陽子

【論文】
西山陽子，西村伸子，磯本一夫，他：訪問看護における急変時の困難と要因．日本看護福祉学会誌，23（2）：119-130，2018.

【社会活動】
2017 年 10 月～2018 年 5 月　長門健康福祉センター「看護研究」講師

助教　山本　孝治

【学会発表】
山本孝治, 久保伸子, 松井敏幸：老年期クローン病患者の療養生活の実際およびニーズの明確化（第 1 報）．第 9 回日本炎症性腸疾患学会学術集会（示説発表），京都，2018.

有安直貴，大重育美，菅原直子，田邉綾子，山本孝治，福島綾子，姫野稔子，高橋清美，田村やよひ，北条智子：インストラクションデザインを用いた災害看護セミナーの研修設計と実施評価．第 19 回日本赤十字看護学会学術集会（口演発表），広島，2018.

【競争的外部資金】
2017-19 年度　老年期クローン病患者の療養生活の実際および看護実践開発に向けた基礎的研究　[JSPS 科研費 JP17K18304]

【社会活動】
・武田薬品主催、炎症性腸疾患アドバイザリーボード（東京，2018 年 7 月）メンバー
・アッヴィ合同会社、日本炎症性腸疾患学会主催、IBD メディカルスタッフ教育セミナー（福岡、2018 年 7 月）プログラム委員・アフタヌーンショートセミナー司会
・武田薬品主催、IBD ナース Workshop に向けた Advisory Board Meeting（大阪，2018 年 3 月）メンバー
・日本炎症性腸疾患学会市民公開講座（東京，2018 年 2 月）講演

助手　山内　多恵

【学会発表】
テーマ　中堅看護師のキャリア開発に対する師長の認識と支援．第 38 回日本看護科学学会学術集会，2018 年.

＜ヘルスプロモーション・在宅看護＞

教授　小林　裕美

【著書】

小林裕美：エンドオブライフケア　家族への支援．柏木聖代，沼田美幸，清崎由美子他：訪問看護基本テキスト各論編．東京，日本看護協会出版会，623-628，2018.

小林裕美：被災者特性に応じた看護の展開　障害者に対する災害看護．日本赤十字社事業局看護部編：系統看護学講座　統合分野　看護の統合と実践(3) 災害看護学・国際看護学．第 3 版．医学書院，138-140，2018.

【学会発表】

小林裕美：在宅で看取りを行う家族の予期悲嘆への援助に関する看護師の考え．第 23 回　日本在宅ケア学会学術集会（大阪）　2018.7.14

田邉綾子，小林裕美：介護離職を決断するまでの思い～遠方に住む親の介護のため離職した 1 事例からの検討～．第 91 回日本産業衛生学会（熊本），2018.5.17

【社会活動】

・宗像市介保険運営協議会　委員
・宗像市保健福祉審議会委員
・宗像市日の里地区地域医療福祉推進協議会　アドバイザー

准教授　西村　和美

メディカコンクール　看護師国家試験模擬テスト　在宅看護領域（2016 年～2018 年）

【社会活動】

・福岡市介護認定審査員（2017 年，2018 年）
・アジア太平洋こども会議　医療ボランティア（2017 年，2018 年）
・宗像医師会病院　看護研究指導（2018 年 4 月～2019 年 2 月）
・宗像医師会病院看護部倫理委員会院外職者（2018 年 7 月）
・2018 年 10 月 14 日　通所介護ライズ　健康教室講師
・2018 年 10 月 21 日　ライズ津屋崎　健康教室講師
・2018 年 10 月 28 日　通所介護ライズ　健康教室講師
・宗像市ルックルック講座　講師　2018 年 9 月 9 日

助教　金森　弓枝

【社会活動】

福岡県宗像・遠賀保健所運営協議会保健事業部会委員(任期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

【競争的外部資金】

2018-20 年度　地域の見守りに活かす「独居高齢者のフレイル早期発見のための地域活動参加意思尺度」　[JSPS 科研費 JP18K17663]

＜メンタルヘルス＞

教授　髙橋　清美

【論文】

髙橋清美，齋藤涼子：精神障がい者の摂食嚥下機能支援に対する摂食・嚥下障害看護認定看護師の認識と行動．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：1-8，2018.

高瀬理恵子，高橋清美：統合失調症を患う高齢者の摂食嚥下障害とケアのポイント．臨床老年看護，25(5)：44-51，2018.

【社会活動】

・平成 30 年 11 月～　NPO 法人ノーチラス会集い in 北九州担当
・平成 30 年 11 月　「知らなかった！被災者および支援者のメンタルヘルス」講師．災害看護研修シリーズーいざという時に動けるワタシになるためにー，日本赤十字九州国際看護大学主催，2018.
・平成 30 年 8 月　熊本赤十字病院　新人看護師対象セルフエスティーム研修会講師．熊本赤十字病院，ホテルグリーンピア南阿蘇.

准教授　石飛　マリコ

・福岡県専任教員養成講習会　看護教育演習(専門領域別看護論　精神看護学)　講師
2018 年 8 月 22 日
・熊本赤十字病院　平成 30 年度新人看護師研修「セルフエスティーム(自己信頼)」
講師 2018 年 8 月 30 日～31 日

【社会活動】

・福岡県立精神医療センター太宰府病院　看護研究指導　2018 年 7 月～2019 年 3 月
・PAS セルフケアセラピィ看護学会　広報委員会　委員　2018 年 12 月 1 日～2020 年 8 月 31 日
・第 30 回日本精神保健看護学会学術集会　執行委員　2018 年 12 月 3 日～2020 年 6 月 14 日

＜クリティカルケア・災害看護＞

教授　山勢　善江

【社会活動】

・福井大学大学院　非常勤講師（2018 年～）
・杏林大学大学院　非常勤講師（2018 年～）
・慈恵医科大学大学院　非常勤講師（2018 年～）
・長崎県立大学大学院　非常勤講師（2018 年～）
・2018 年　保健師助産師看護師国家試験作題委員

准教授　濱元　淳子

【著書】

濱元淳子：初療の系統別フィジカルアセスメント婦人科系．日本救急看護学会『フィジカルアセスメント』編集委員会編：救急初療看護に活かすフィジカルアセスメント．東京，へるす出版，124－128，2018.

濱元淳子：神経原性ショックの場合の基本的処置．日本救急看護学会：外傷初期看護ガイドライン JNTEC 改訂第 4 版．東京，へるす出版，229－230，2018.

【論文】
西山陽子，西村伸子，磯本一夫，染元陽子，濱元淳子：訪問看護における急変時の困難と要因．日本看護福祉学会誌，23(2)：119－130，2018.

助教　苑田　裕樹

【著書】
苑田裕樹：第 5 章 初療における急性症状の看護実践 胸部外傷．日本救急看護学会『フィジカルアセスメント』編集委員会編：救急初療看護に活かすフィジカルアセスメント．東京，へるす出版, 238-246, 2018.

苑田裕樹：第 5 章 外傷患者に対する基本的処置と対応 6.呼吸障害（B）に対する基本的処置と対応：日本救急看護学会[JNTEC ガイドライン]編集委員会編：外傷初期看護ガイドライン（JNTEC）改訂第 4 版．東京，へるす出版，213～216，2018.

【論文】
苑田裕樹，福島綾子，清末定美，大重育美：日本赤十字九州国際看護大学における災害対応マニュアル改訂と発災時の対応能力向上への取り組み．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：21-32，2018.

【学会発表等】
・苑田裕樹，清末定美：Office と Google フォームを活用したクラウド型安否確認ツールの構築．第 20 回日本救急看護学会学術集会（和歌山）, 2018 年 10 月
・苑田裕樹，清末定美，山勢善江，他：A 看護大学における BLS ブレンド型研修（教職員対象）の設計．第 20 回日本救急看護学会学術集会（和歌山）, 2018 年 10 月

【社会活動】
・2018 年 6 月　第 14 回日本クリティカルケア看護学会学術集会 実行委員

助教　福島　綾子

【著書】
福島綾子：ミシェルの病気の不確かさ理論．山勢博彰監修：臨床現場の困ったを解決する看護理論 Part2．月刊ナーシング，38(12)：47-50，2018.

福島綾子：SpO_2 が 98％以上でも安心してはいけない理由は？月刊ナーシング，38(4)：7-8，2018.

福島綾子：血圧を測定するときに、体位を変えてはいけない理由は？月刊ナーシング，38(4)：9，2018.

福島綾子：人工呼吸器、NPPV、ネーザルハイフローの使い分けは？月刊ナーシング，38(4)：31-32，2018.

【論文】
苑田裕樹，福島綾子，清末定美，大重育美：日本赤十字九州国際看護大学における災害対応マニュアル改訂と発災時の対応能力向上への取り組み．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：21-32，2018.

【社会活動】
第 21 回日本クリティカルケア看護学会学術集会（2019 年 6 月）企画委員/実行委員

助教　清末　定美

【論文】

苑田裕樹，福島綾子，清末定美，大重育美：日本赤十字九州国際看護大学における災害対応マニュアル改訂と発災時の対応能力向上への取り組み．日本赤十字九州国際看護大学紀要，17：21-32，2018.

＜国際看護＞

教授　小川　里美

【学会発表】

小川里美，岡村純：福岡西方沖地震で被災した玄界島のコミュニティレジリエンスに関する研究．第 20 回日本災害看護学会　2018